

公益社団法人 化学工学会 反応工学部会 CVD 反応分科会主催

第 18 回シンポジウム「各種透明導電膜の特徴と製膜技術」

共催 CVD 研究会

日時：平成 25 年 2 月 26 日(火) 13:00～18:00 (終了後、懇親会を開催します。)

会場：文京シビックセンター26 階 スカイホール (最寄駅：地下鉄 後樂園駅・春日駅)

http://www.city.bunkyo.lg.jp/sosiki_busyo_shisetsukanri_shisetsu_civic.html

参加費：化学工学会 CVD 反応分科会法人会員 (無料)，化学工学会 CVD 反応分科会個人会員 (2,000 円)，化学工学会反応工学部会会員 (3,000 円)，化学工学会会員 (4,000 円)，CVD 研究会会員 (4,000 円)，非会員 (10,000 円)，学生 (無料)

申込方法：(1)氏名，(2)勤務先(所属)，(3)連絡先 E-mail，(4)参加資格 (所属学会等)，(5)懇親会出欠を明記の上，Web にて <http://www2.scej.org/cre/cvd/event.html> よりお申込み下さい。

申込締切：2 月 19 日 (火) ただし，定員 (90 名) になり次第締め切ります。

問い合わせ先：CVD 反応分科会事務局 E-mail：cvd@scej.org

開催趣旨

透明導電膜は、電気と光を扱うデバイスでは不可欠な部材となっており、その進展により新たな付加価値を持つ種々のデバイスが実現しています。タッチパネル・タッチスクリーン等の透明なデバイス、フラットパネルディスプレイや面発光型照明等の電気から光を作るデバイス、そして太陽電池という光から電気を作るデバイスを支えています。ITO が代表格ですが、In は希少元素であり、元素戦略の観点から多様な材料が探索・開発されてきました。また、高透過率、低シート抵抗という基本機能に加え、柔軟性、耐摩耗性、安定性などの付加価値もデバイスによっては重要となっています。

今回は、無機酸化物、貴金属、有機導電体、およびナノカーボンと特徴の異なる材料の産学の専門家にお願ひして、最新のトピックスをご紹介頂きます。更に、これらの材料を実用的に作りこむプロセスについてもご紹介頂きます。物性の大きく異なる材料を横並びで比較することで、特徴を明確に理解し、また共通する本質の理解を深める機会になれば幸いです。多数のご参加をお待ち申し上げます。

プログラム

12:30 受付開始

13:00～13:05 開会あいさつ

13:05～14:00 「酸化物透明導電膜 ITO、AZO についての最新動向」

名古屋大学・(有)アーステック 小島 啓安 氏

14:00～14:40 「LPCVD による高移動度フッ素ドーパ酸化スズの開発」

旭硝子株式会社 一色 眞誠 氏

14:40～15:00 休憩

15:00～15:40 「Mg 水酸化物構造をもつ新規の透明導電材料」

東海大学 本城 貴充 氏

15:40～16:20 「Ag ナノワイヤを用いた透明導電膜の開発」

大阪大学 菅沼 克昭 氏

16:20～16:40 休憩

16:40～17:20 「PEDOT/PSS の高導電化と透明導電膜への応用」
17:20～18:00 「2層カーボンナノチューブ透明導電フィルム」
18:00～19:30 懇親会 (参加費 一般：2,000 円, 学生：1,000 円)

山梨大学 奥崎 秀典 氏
東レ株式会社 佐藤 謙一 氏

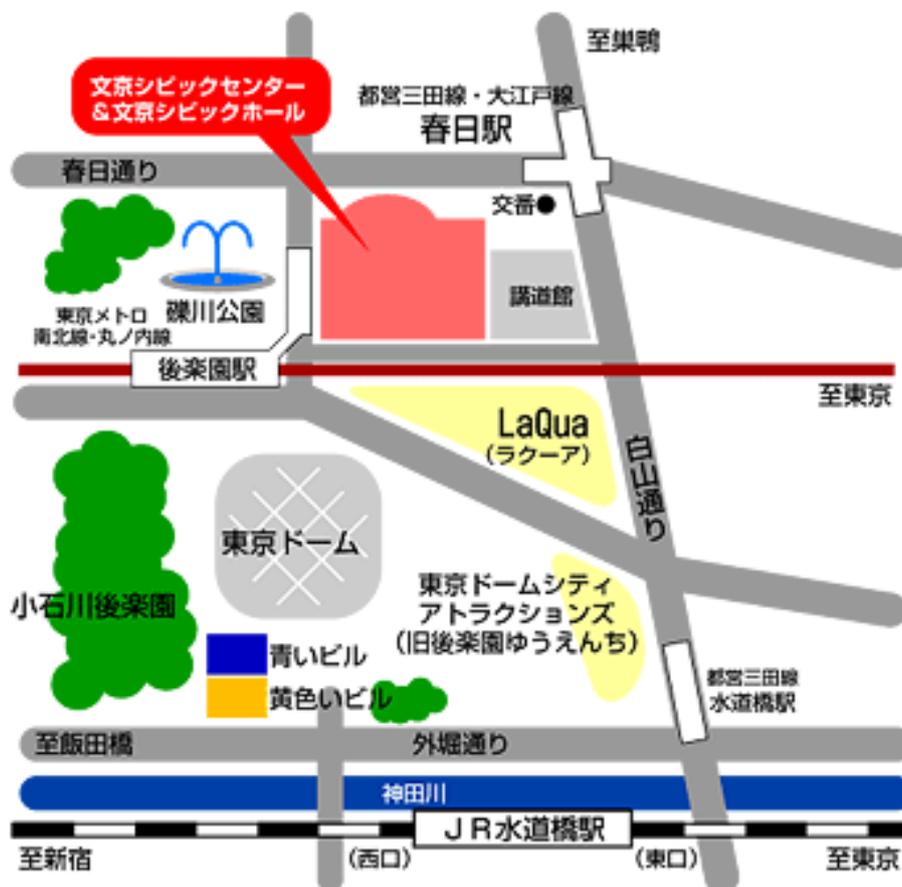
詳細は以下の URL も参照下さい。

<http://www2.scej.org/cre/cvd/index.html>

シンポジウムオーガナイザー

早稲田大学 野田 優
東海大学 秋山 泰伸
大陽日酸株式会社 筑根 敦弘

会場 (文京シビックセンター) 案内図



住所 東京都文京区春日 1-16-21

駐車場 利用時間 8:15～22:00 利用台数 130 台

交通機関

東京メトロ：丸の内線・南北線 後楽園駅 (4a・5 番出口) 徒歩 1 分

都営地下鉄：三田線・大江戸線 春日駅 (文京シビックセンター連絡口) 徒歩 1 分

JR 総武線：水道橋駅 (東口) 徒歩 9 分